

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年1月19日

事業所名 放課後等デイサービスまわえん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		パーティションで個別スペースを作り、個性に合わせた支援をしている。	
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		毎日2回の朝礼をし、振り返っている。月に1回の支援会議、2か月に1回の外部講師による話し合いを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		保護者にアンケートを実施し、業務改善を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	2か月に1回、講師に支援の様子や悩み事を伝え、評価してもらっている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		外部講師に研修を依頼している。	権利擁護・虐待防止・接遇マナー・AED研修
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		保護者と面談し、指導者全員で振り返り、本人の意見も聞きながら作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	フェイスシート等を使用。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		朝礼時に話し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		平日は基本個別活動であるが、多くの選択肢から選べるよう努めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		利用者と共に、本人のやりたいという思いを大切に、話し合って決定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別支援が中心になっているが、コロナ感染予防を取りながら外出や集団活動を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼時に確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	その日の様子をサービス提供記録を書きながら支援者同士で共有している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		支援者全員で行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児発管が参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		日々の学校からの情報は共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		保護者から伝え聞いている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	適宜、相談員さんを通して会議等に参加している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1		現在まで、移行は無かったが、ある場合は情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		研修があれば受講したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		コロナ禍で交流は控えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2		コロナ禍で交流は控えている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送りの時に必ず保護者と言葉を交わし、利用者の日々の情報を共有している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		外部講師による講演会のような保護者向けの勉強会があると良い	
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時にお伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		毎日の送りの時、個別支援計画時に行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3		コロナ禍で交流はできていないが、集まる事が難しい時は、事業所に対するアンケート等を取って、情報を伝えていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月報告書を発信している。	活動の内容などについて、その都度お便りで知らせている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
責任等	35	個人情報に十分注意している	7		外から見えやすくなっているため、靴箱に名前の記載はしていない。外出時は大きな声で名前を呼ばないようにしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	近隣を散歩する際、挨拶を欠かさないようにしている。	コロナ禍で交流はできないが、同じグループの高齢者の方々と交流できた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	防災対策委員会等で対応している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		出来る限り、月1回行うようにしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		外部講師に研修を依頼している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			対象となる利用者はおられない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		現在アレルギーのある利用者はいないが、今後あれば医師の指示に従う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		朝礼時に昨日の様子を話し合い、ヒヤリハットがあれば共有し作成している。	